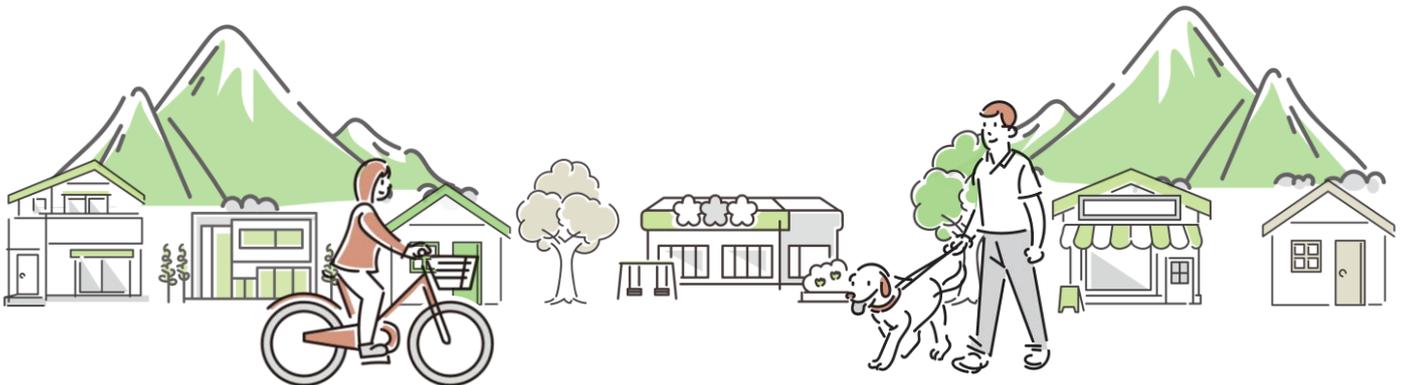


あがたの森通り再整備計画 (素案)

長野県松本建設事務所



目次

策定経過	1
1. あがたの森通り再整備計画とは	2
2. あがたの森通りの魅力と課題	3
3. あがたの森通りの再整備方針	4
4. 計画の進め方	10

<策定経過>

『あがたの森通り再整備計画』は、令和6年度から7年度にかけて策定しました。策定にあたっては、沿道事業者や住民、中高生へのアンケートや現地調査等により通りの現状と課題を把握しました。

また、ワークショップ(計5回)を開催し、参加者との意見交換を重ねながら計画内容を検討しました。

令和6年度



1~2月 あがたの森通りに関するアンケート
・沿道事業者・住民アンケート
・中高生アンケート

- 3/19 第1回あがたの森ストリートデザインワークショップ



5~6月 あがたの森通りの現地調査・人流分析

- 7/31 第2回あがたの森ストリートデザインワークショップ



令和7年度

- 10/1 第3回あがたの森ストリートデザインワークショップ
- 10/13



- 12/21 第4回あがたの森ストリートデザインワークショップ

- 2月 第5回あがたの森ストリートデザインワークショップ(予定)

1. あがたの森通り再整備計画とは

(1) 計画の背景と目的

あがたの森通りは、昭和7年(1932年)に幅員22mの「都市計画街路」として認可され、約90年の歳月を経て、令和7年度(2025年度)に全線の整備が完成しました。長い年月をかけて「道路を整備する」段階を終え、これからは整備された道路空間を「いかに使いこなすか」という視点で、通りの質を高めていく新たな段階に入ります。

『あがたの森通り再整備計画』は、「いまよりもっと歩きやすく・居心地のよい通り」を目指し、松本市を代表する目抜き通りとして、県、市、住民、事業者が一体となって育てていくための計画です。

本計画は、この通りの位置づけや魅力・課題をふまえて、「より安全で快適な道づくり」「居心地のよい道端づくり」「水と緑を感じる道づくり」「芸術・文化が薫る道づくり」の4つのテーマで再整備の方針を整理しました。

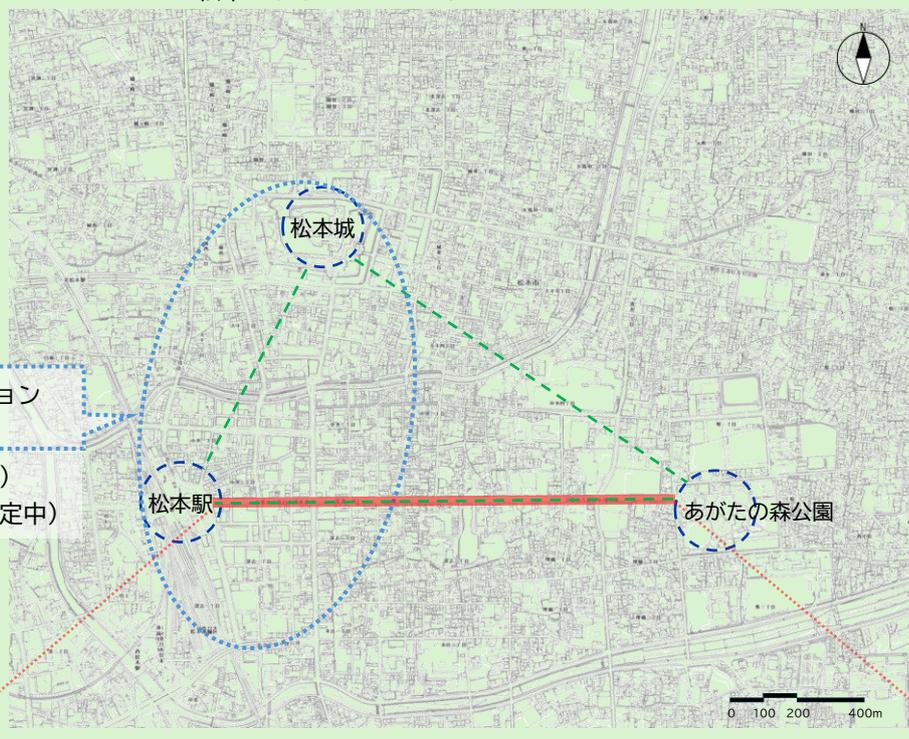
(2) あがたの森通り及び計画の位置づけ

あがたの森通りは、松本駅前からあがたの森公園前までの約1.4kmの県管理道路です。この通りは、松本城・松本駅・あがたの森公園を結ぶトライアングルエリアの一边を担い、中心市街地の主要な回遊動線の骨格であり、東西を貫く人と車の移動の幹線軸となっています。

本計画は、市が策定した『松本まちなかグリーンインフラアクションプラン』(令和5年3月)に示された「地域と進める『緑と花のシンボルストリートデザイン』」を念頭に、まちなか関連の各種計画やビジョンとの整合を図りながら、県と市が連携し、公民協働で進めていくものです。

トライアングル
エリア

松本まちなかグリーンインフラアクションプラン



えきまえエリアビジョン
(策定中)

松本市景観計画(改定中)
松本市総合交通戦略(改定中)



2. あがたの森通りの魅力と課題

あがたの森通りには、以下のような魅力と課題があります。

魅力

■道路空間

- ・ 駅からあがたの森まで一直線に開けた景観
- ・ 片側2車線のシンボルストリート
- ・ 歩道の幅が広く、安全で歩きやすい
- ・ 石張り舗装の歩道が歩きやすく質が高い

■賑わい・居場所

- ・ 多世代の歩行者が多く活気がある
- ・ カフェやおしゃれな店舗など魅力的な店舗がある
- ・ ライブハウスや楽器屋など音楽が身近に感じられる
- ・ ポケットパークなど道を逸れた場所にある発見
- ・ 松本ぼんぼんの賑わい
- ・ 店舗前の空地をオープンスペースとして活用できる可能性

■緑・水

- ・ 沿道の緑や花による彩り
- ・ 清掃や樹木の手入れが行き届いている
- ・ 雑草に負けていない維持管理
- ・ 四季を通じた花飾りの取り組み
- ・ 憩いの場となっている美術館前の植栽
- ・ 各文化施設が備えている緑(屋上庭園、中庭、公園)

■芸術・文化・景観

- ・ 駅からあがたの森まで変化のある街なみ
- ・ 趣のある建物の存在
- ・ 美術館、美術館、あがたの森文化会館など芸術・文化施設の存在
- ・ 道路から美ヶ原や北アルプスを望む眺望
- ・ 通りの終点があがたの森という魅力
- ・ まっすぐな通りの先への期待感・ワクワク感

課題

■道路空間

- ・ 歩道の段差、舗装の劣化による割れ・凹凸
- ・ ゲリラ豪雨時の浸水、路面冠水
- ・ 自転車通行帯の一部未整備、運転マナーの問題
- ・ 自転車の駐輪場の不足
- ・ 交通渋滞(特定の交差点、土日)
- ・ 南北方向の路地の幅員の狭さ(緊急車両の進入困難)
- ・ 夜間の照明不足(美術館からあがたの森公園の間)

■居場所・賑わい

- ・ 休憩施設(ベンチ、屋根のある休憩スペース、給水スポット等)の不足
- ・ 立ち止まりたくなる魅力ある施設や空間の不足
- ・ 学生が放課後に立ち寄れる場所の不足
- ・ 空き店舗の存在、活用されていない低未利用空間
- ・ 大型ビルのグランドレベル(1階部分)の低未利用
- ・ サインや案内表示の不足

■緑・水

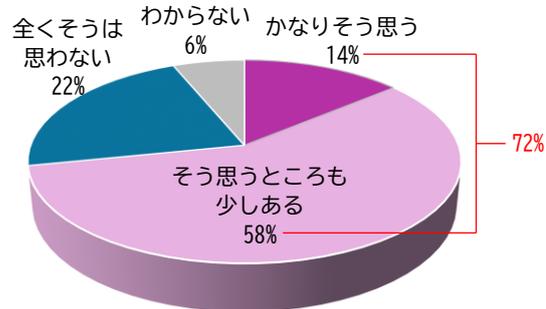
- ・ 緑陰や日陰の不足(特に北側の歩道)
- ・ 街路樹の老化や衰弱
- ・ 植栽管理の担い手の不足(住民、事業者の負担)
- ・ 花いっぱい運動発祥の地としての花の不足感
- ・ 冬期の殺風景さ
- ・ 殺風景な駐車場
- ・ 鳥害(ムクドリ、カラス)

■アイデンティティ

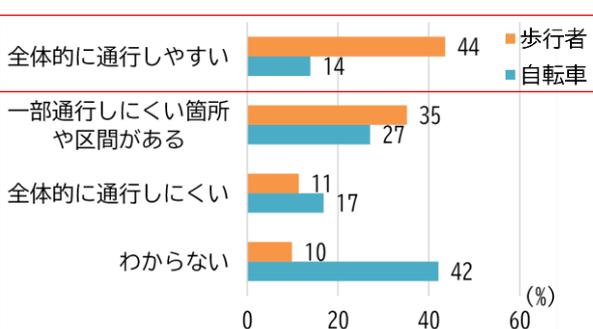
- ・ 通りの統一感のなさ(街路樹、デザイン、景観)
- ・ 通りの特色の見出しにくさ
- ・ 「あがたの森通り」としての認知不足

あがたの森通りの現状に対する認識・評価

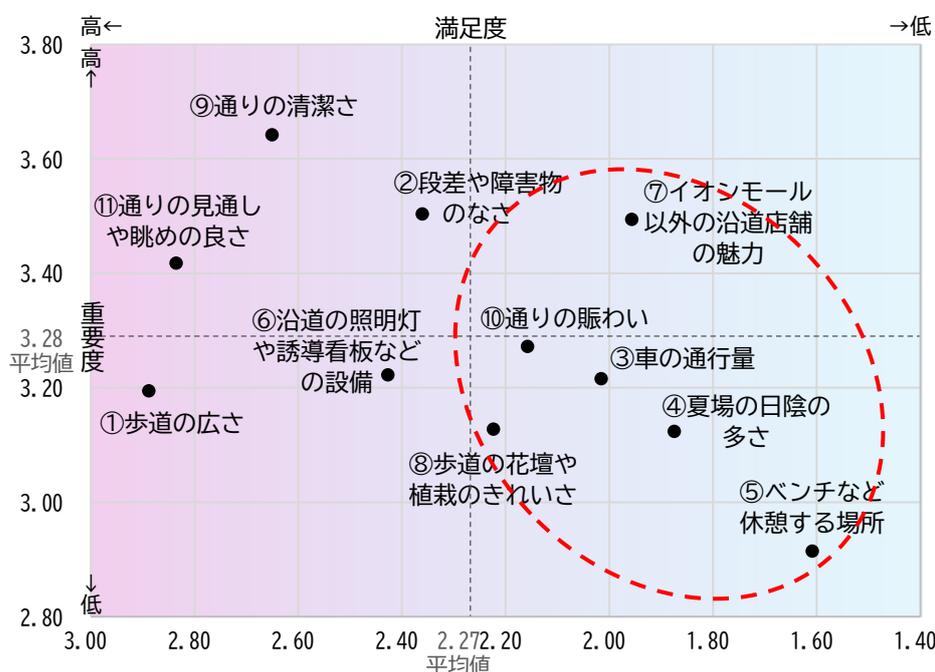
沿道事業者・住民アンケート(n=273)



通りの魅力(楽しさ・快適さ)



通行のしやすさ(歩行者・自転車)



通りに対する満足度と改善の重要度(11項目・4段階評価)

3. あがたの森通りの再整備方針

テーマ1 より安全で快適な道づくり

誰もが安全・快適に通行できるよう、自転車・歩行者の通行環境の向上と、自然災害のリスクや厳しい夏の暑さに対応できる道路空間の整備に向けて取り組みます。

■ 方針1 自転車通行帯の連続性確保と通行の安全性向上

自転車が安全に通行できるよう、あがたの森通り全線にわたって連続する自転車通行帯の整備に向けて取り組みます。

【実現を目指す取組の方向性】

- ① 自転車通行帯未整備区間の整備
- ② 自転車通行帯を含む路面の平坦性の確保（段差・凹凸の解消）

【実現に向けた課題】

- a 現在の道路幅員や沿道状況を踏まえた整備手法の検討
- b 自転車利用者への通行ルールとマナーの周知徹底
- c 路上駐車対策と沿道店舗利用者の駐車ルールの明確化
- d バスベイにおける自転車と降車客の接触防止対策

■ 方針2 歩行空間のユニバーサルデザイン化

あがたの森通りを誰もが安全・快適に通行できるよう、歩行空間のユニバーサルデザイン化を進め、傷んだ路面の改善、段差や傾斜の解消等に取り組みます。

【実現を目指す取組の方向性】

- ① 縦断勾配・横断勾配の改善(車いす、キャリーケース利用者への配慮)
- ② 歩道の拡幅整備(車いす同士のすれ違いに支障のない有効幅員の確保)

【実現に向けた課題】

- a ユニバーサルデザインの視点による現状把握調査の実施
- b 改善箇所の優先順位の整理(劣化・破損路面の改修、段差・傾斜の解消、雨水排水処理、車両出入口等)

■ 方針3 グリーンインフラによる雨水管理と浸水対策の強化

近年の集中豪雨等による浸水リスクに対応するため、グリーンインフラの手法を活用し、雨水の浸透・貯留機能の拡充に取り組みます。

【実現を目指す取組の方向性】

- ① 透水性舗装の導入(歩道部、オープンスペース等)
- ② レインガーデン等の計画的配置(ポケットパーク整備と一体的に実施)
- ③ 雨水の浸透・貯留機能を有する植栽帯(雨庭など)の整備

【実現に向けた課題】

- a 透水性舗装は歩道の再整備と一体的に実施するため中長期的な対応が必要
- b 浸透・貯留機能を持つ植栽帯の拡幅及び必要な資材・設備の導入
- c 美術館・芸術館一带など浸水リスクの高い箇所を優先した段階的整備

■ 方針4 夏場の暑熱対策と景観・快適性の向上

夏場の暑さをしのぎながら快適に歩くことができるよう、緑陰の創出や休憩スポット等の効果的な配置に取り組みます。

【実現を目指す取組の方向性】

- ① 休憩所の配置(屋根付きベンチ、木陰との組み合わせ)
- ② 通りの南北軸を考慮した戦略的な街路樹配置(緑陰の形成) ※テーマ3方針1

【実現に向けた課題】

- a 通り沿いに点在するバス停留所11箇所を休憩所として活用(他の取組と連動)
- b 沿道建物の配置と日射による南北の歩道環境の違いを踏まえた街路樹配置計画
- c 歩行快適性・車両視認性・景観の三者を両立させる街路樹の剪定管理手法の確立 ※テーマ3方針1
- d ミスト装置等の暑熱対策設備の導入検討 ※テーマ2方針1

テーマ2 居心地のよい道端づくり

「ただ通り過ぎる道」から「立ち寄りたくなる道端」へ。居心地の良い滞留空間と賑わいのある通りの創出に取り組みます。

■ 方針1 居心地の良い滞留空間づくり

沿道のオープンスペースやバス停留所、路上空間等を、誰もが立ち寄りたくなる居心地の良い滞留空間として利活用するための仕組みづくりに取り組みます。

【実現を目指す取組の方向性】

- ① 沿道民有地のオープンスペースを活用したポケットパーク整備
- ② 歩道とオープンスペースの一体的な空間形成(段差解消、フェンス撤去等)
- ③ グランドレベル(建物1階)の通りへの開放促進
- ④ バス停の多機能化：休憩機能、給水機能、緑化、統一デザイン(バスまち空間の魅力化)
- ⑤ オープンテラス・カフェ設置のための制度活用
- ⑥ ベンチやプランター等のストリートファニチャーの導入(県産材の活用)

【実現に向けた課題】

- a 民有地所有者・店舗事業者との協議・協働の仕組みづくり
- b 道路占用許可基準の緩和
- c 交通事業者との調整(安全性・視認性の確保)
- d 民間と連携した維持管理体制の構築

■ 方針2 賑わいと回遊性の向上

横道や周辺の魅力スポットとあがたの森通りとのつながりを深め、通り一帯での賑わいと回遊性の向上に取り組みます。

【実現を目指す取組の方向性】

- ① 横丁・横道への誘導サイン(案内板、路面表示等)の設置
- ② 沿道各所のスポット間を結ぶ連続的な仕掛けづくり(舗装デザイン、サイン等)
- ③ 回遊マップの作成・配布
- ④ 通り全体での沿道イベントや社会実験の開催

【実現に向けた課題】

- a 観光関連団体や情報発信者等との情報共有・協働体制の構築
- b 誘導サインのデザイン統一とメンテナンス体制の確立
- c 沿道事業者と地域住民の連携強化

■ 方針3 居心地を高める沿道デザインの誘導

あがたの森通りならではの質の高い沿道景観を創出し、歩きたくなる通りの推進に取り組みます。

【実現を目指す取組の方向性】

- ① ファサード(建物正面外観)のデザインのルールづくり
- ② 屋外広告物の色彩・デザインのルール化

【実現に向けた課題】

- a 建物所有者や店舗事業者のルールに対する理解
- b 統一性の担保と店舗ごとの個性の発揮との両立

テーマ3 水と緑を感じる道づくり

地域と協働した緑化推進により「緑と花のシンボリストリート」を実現し、豊富な湧水を活かした親水空間の創出に取り組みます。

■ 方針1 沿道植栽の戦略的なデザイン ～緑の変化と連続性～

地域と進める「緑と花のシンボリストリートデザイン」の実現に向け、良好な歩行環境を創出する植栽計画を策定し、緑が連なる沿道景観の形成に取り組みます。

【実現を目指す取組の方向性】

- ① 通り全体を貫く統一テーマに基づく植栽計画の策定(エリアごとの特性を踏まえた樹種構成)
- ② 高木・中木・低木の階層的配置による立体的な緑の演出
- ③ 常緑樹と落葉樹や四季折々に花が咲く樹種の組み合わせによる通年の彩り確保

【実現に向けた課題】

- a 車両通行の視認性確保(樹種選定、剪定管理等での工夫)
- b 植物の健全な生育と良好な沿道空間を保つための維持管理手法の確立(剪定、灌水等)
- c 鳥害・病虫害対策(樹種選定、剪定管理等での工夫)

■ 方針2 沿道店舗等との協働による緑化推進と維持管理

「緑と花のシンボリストリートデザイン」の実現に向け、沿道店舗や市民との協働による緑化推進と持続可能な維持管理体制の構築に取り組みます。

【実現を目指す取組の方向性】

- ① 沿道店舗等による店先緑化の推進
- ② 市民・事業者参加型の維持管理の仕組みづくり
- ③ 若い世代との協働による花育プログラムの展開(幼少期から)

【実現に向けた課題】

- a 沿道店舗による植栽帯の管理・アレンジを可能とする制度設計(花いっぱい運動との連携)
- b 沿道事業者・地域との合意形成と協働体制の構築
- c 持続可能な維持管理組織・団体の育成・形成(緑化団体、地域ボランティア等)
- d 教育機関(周辺9校)との連携に向けた調整や協働の仕組みづくり

■ 方針3 水の活用と親水空間の創出

あがたの森通り沿道で水を活用した景観づくり・維持管理・回遊性向上に取り組みます。

【実現を目指す取組の方向性】

- ① 水を活かした景観デザインの展開(水盤、せせらぎ、モニュメント等)
- ② 水にまつわる歴史解説等の案内サインの充実
- ③ 地下水を活用した維持管理用給水設備の検討(植栽への灌水、歩道の洗浄等)
- ④ 給水スポット(飲用・散水用)の設置

【実現に向けた課題】

- a 松本市の水巡り案内等の取組との連携
- b 美術館正面広場を親水空間として活用するための調整
- c 給水設備の整備・活用に対する沿道事業者の理解
- d 地下水の利用可能性(水質や水量等)の確認

テーマ4 芸術・文化が薫る道づくり

あがたの森通りで松本らしさを感じ、芸術・文化を身近に楽しめるシンボルストリートの創出に取り組みます。

方針1 三ガク都を表現する統一的な空間デザイン

松本駅からまっすぐ伸びる目抜き通り・あがたの森通りを、松本らしさを感じ取れるシンボルストリートとして、統一感のあるデザイン整備に取り組みます。

【実現を目指す取組の方向性】

- ① 統一感のあるストリートファニチャー(照明、ベンチ等)の統一デザイン整備
- ② エリア特性を反映した舗装デザイン(楽都を表現する音楽モチーフ等)
- ③ 文化施設への誘導を組み込んだ歩道舗装の整備(美術館・芸術館への動線の可視化)

【実現に向けた課題】

- a 地元(各町会)、松本市、観光関係者等との合意形成
- b 通りの統一感と松本らしさの表現方法の検討

方針2 松本の歴史・文化を伝える案内サインの充実

あがたの森通りを歩くことで、通りの歴史・文化を知る機会を提供する案内・解説サインの設置に取り組みます。

【実現を目指す取組の方向性】

- ① 楽都を表現する音楽モチーフのサイン設置(譜面デザイン、松本ぼんぼんの楽譜掲載等)
- ② 松本の伝統工芸品や文学作品を紹介する解説サインの設置
- ③ 岳都を表現する山並みの眺望ポイント案内
- ④ QRコード等のデジタル技術を活用した多言語・多世代対応の情報提供

【実現に向けた課題】

- a 市民から観光客、子どもから高齢者までが楽しめるシンプルで分かりやすい内容の検討
- b ストリートファニチャーとの統一感・一体感の創出
- c デジタル情報の更新や維持管理体制

方針3 アートを身近に感じるギャラリーストリート化

あがたの森通りを芸術文化の発信拠点とし、アートを身近に感じるギャラリーのような通りの創出に取り組みます。

【実現を目指す取組の方向性】

- ① 小規模なアート・音楽発表の場の点在的配置(壁面アート、オープンギャラリー等)
- ② イベント時の演出・装飾の計画的展開(クラフトフェア、セイジ・オザワ松本フェスティバル等との連動)
- ③ 沿道店舗のウィンドウギャラリー化の推進

【実現に向けた課題】

- a アーティストとの協働運営の仕組みづくり
- b 既存のイベント実行委員会との調整・協力体制
- c 芸術文化の質を保つための選定基準の策定

通り全体

スポット

スポット

通り全体



ギャラリーストリート
(壁面アート)



沿道民有地のオープンスペースを活用したポケットパーク整備



水にまつわる歴史解説等の案内サインの充実



水を活かした景観デザインの展開



雨水の浸透・貯留機能を有する植栽帯(雨庭など)の整備



組み合わせによる通年の彩り確保



伝統工芸や文学作品などの伝える解説サインの設置



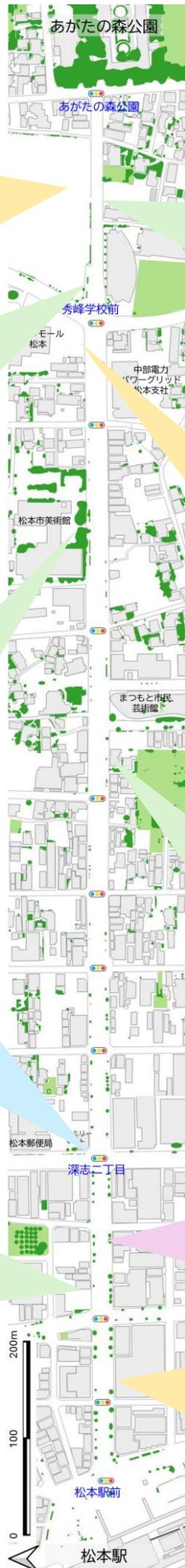
歩行空間のユニバーサルデザイン化



沿道店舗等による店先緑化の推進



バス停の多機能化：休憩機能、給水機能、緑化、統一デザイン(バスまち空間の魅力化)



市民・事業者参加型の維持管理の仕組みづくり



通り全体での沿道イベントや社会実験の開催



地下水を活用した維持管理用給水設備の検討



自転車専用通行帯未整備区間の整備



オープンテラス・カフェ設置のための制度活用



エリア特性を反映した舗装デザイン



グランドレベル(建物1階)の通りへの開放促進



ベンチやプランター等のストリートファニチャーの導入



沿道植栽による緑の変化と連続性

4. 計画の進め方

本計画に基づく再整備は、行政が連携し、沿道事業者、町会、地域住民、利用者等と協働しながら、できるものから段階的に進めていきます。



長野県松本建設事務所 計画調査課

長野県松本市大字島立1020 松本合同庁舎4階 TEL : 0263-40-1961 (代表)